



MacDrive™ 10

PRO 日本語版

クイックガイド

重要

第2章の「**重要** シリアル番号の発行方法について」(6 ページ)を必ずお読みください。

製品同梱のライセンスカードに記載されているピンコードを使用してシリアル番号を発行する手順となります。

目次

第 1 章 はじめに	3
Mac ディスク / ファイルとは ?	3
動作環境	4
MacDrive 10 について	5
第 2 章 インストール	6
重要 シリアル番号の発行方法について	6
MacDrive のインストール	8
MacDrive のライセンス認証	11
Disk Aware のインストール	12
Disk Aware のライセンス認証	15
第 3 章 MacDrive 10 の使用方法	18
「ディスク」タブ	18
「作成」タブ	19
「修復」タブ	20
「CD/DVD」タブ	21
「イメージ」タブ	21
「設定」タブ	22
「ヘルプ」タブ	23
よくあるご質問	24
テクニカルサポート	28
用語集	29

第1章 はじめに

古い荷物や資料を整理していると、過去に Macintosh で作成した MO、CD-ROM などが出てくることがあります。このようなメディアは今日一般的に使用されている Windows コンピューターではアクセスすることができず、内容を確認するには Macintosh コンピューターを用意する必要がありました。

また、デザイン事務所、映像制作会社などでは DTP、DTV などの目的で Macintosh を使用していることがあります。この場合も同様の問題により、Macintosh 用のメディアにアクセスするには Windows / Macintosh 両方からアクセスできるファイルサーバーを用意するなど、何らかの対応が必要でした。

MacDrive はこのような問題を解決し、Windows 上から Macintosh で作成したメディアや、ファイルへのアクセスを簡単に可能にします。

また MacDrive は、1 台の Macintosh 上で Windows と Mac OS X を起動できる Boot Camp 環境下で使用することで、通常、Windows 側で起動すると Mac OS X 側のローカルディスクにアクセスできない問題も解決できます。

真のクロスプラットフォーム環境を実現する為、MacDrive をお使いください。

Mac ディスク/ファイルとは？

MacDrive では、Macintosh でフォーマット（※）されたディスクを「Mac ディスク」、同様に Macintosh 用のファイルを「Mac ファイル」と呼んでいます。

※ Macintosh 用のフォーマットとしては HFS、HFS+、HFSX（case-sensitive HFS+）などがあります。
詳しくはお使いの Macintosh コンピューターのヘルプをご参照ください。

動作環境

OS	Windows 10 / 8 & 8.1 / 7 / Server 2012
ディスク空き容量	50MB 以上の空き容量
その他	・ CD-ROM ドライブ（インストール時に必要） ・ インターネット接続環境
対応フォーマット	MacOS X や以前の Mac OS で作成された HFS HFS+ HFSX ボリューム（ジャーナル対応）
対応ディスク	ハードディスク Time Machine ファイル DMG ディスク（ディスクイメージファイル） Blu-ray DVD FD iPod CD MO Zip ※ 400KB、800KB の Macintosh 用 FD にはアクセスできません。
対応デバイス	eSATA SATA FireWire（400/800） IDE USB 3.0 / 2.0 / 1.1 Fibre channel Thunderbolt Mac OS X 10.4 以降のディスクユーティリティで作成した、ミラーリング、ストライプ化、連結などのディスクセット

MacDrive 10 について

MacDrive 10 の開発にあたり、より簡単に操作ができるように一からソフトウェアを見直しました。これにより、Mac フォーマットの HDD/SSD など进行操作することのすべてが今まで以上に容易になりました。

● Windows 10 に完全対応

新しいディスク管理ウィンドウを採用し、MacDrive 10 のすべての機能に素早くアクセスすることができるようになりました。これまでどおり Mac ファイルの操作は、新しいディスク管理ウィンドウだけでなく、MacDrive 10 を導入することで、Windows エクスプローラーや任意のソフトウェアからも自由に行えるようになります。

さらに、接続されたドライブやソフトウェアの現状を、より詳しく表示できるようになりました。

● 今まで以上に、素早く、安全に、見やすく

MacDrive は、ファイルの読み込み / 書き込みスピードとデータセキュリティの安全性について評価を得ていますが、新しい MacDrive 10 では、さらに早いアクセススピードと、より強力なディスクとファイル保護を実現しました。

● Disk Aware を同梱

ディスクの使用量を視覚的に把握することができる Disk Aware を無償提供。

ディスクスペースの状況をとてもわかりやすい「ホイール」で表示でき、Disk Aware リスト表示では、どのファイルがどんな割合でスペースを占有しているのかを簡単に確認できます。

第2章 インストール

重要 シリアル番号の発行方法について

製品パッケージに同梱のライセンスカードには、「ピンコード」が記載されています。以下の説明にしたがって、製品インストール用の「シリアル番号」を取得してください。

- 1 CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。
セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、CD 内の「MacDrive セットアップ」をダブルクリックして実行してください。



2 表示された画面の「シリアル番号取得」ボタンを押してください。
ブラウザが起動し、下図のような「インストール用シリアル番号発行専用ページ」のウェブサイトが開きます（インターネット接続をしている場合）。

e frontier

インストール用シリアル番号発行専用ページ

このページは、イーフロンティアのパッケージをご購入のお客様専用のご案内ページです。
このたびは、イーフロンティアのパッケージをご購入いただきありがとうございます。
このページでは、パッケージ内に同梱されているピンコードと引き換えに、
・インストール用アクティベーションキー（シリアル番号）
を発行いたします。
操作の前に、パッケージ内に同梱されているライセンスカードをお手元にご用意ください。

手順1：インストール用シリアル番号を発行します。

下記の欄に入力し、「送信」をクリックしてください。
各入力項目については、**?** をクリックすると説明が表示されます。

ピンコード **?**

お客様のメールアドレス（確認メールをお送りします） **?**

確認のため、メールアドレスを再入力してください。

送信

3 ピンコードとメールアドレスを記入して、「送信」ボタンを押してください。

ピンコード：

製品同梱のライセンスカードに記載されているピンコードを入力してください。

お客様のメールアドレス（確認メールをお送りします）：

お使いのメールアドレスを記入してください。このアドレスに、インストール用の「シリアル番号」が送付されます。

確認のため、メールアドレスを再入力してください。：

メールアドレスの記載ミスを防ぐため、もう一度メールアドレスを記入してください。

4 送信ボタンを押すと、送信ボタンの下にシリアル番号が表示されるので、無くさないようにメモをしてください。

シリアル番号は記入したメールアドレスにも送付されます。

MacDrive のインストール

CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、CD 内の「MacDrive セットアップ」をダブルクリックして実行してください。

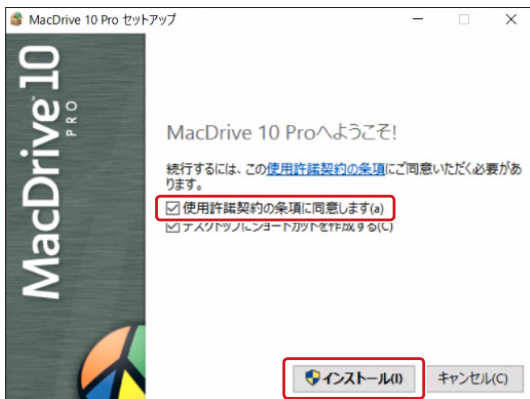
1 「MacDrive をインストール」を押してください。

MacDrive のインストーラーが起動します（最新のプログラムを確認するため、起動するまでに時間がかかる場合があります）。



2 MacDrive 10 Pro セットアップが開きましたら、使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。

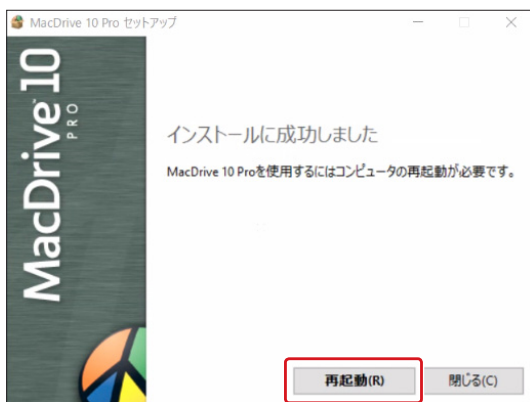
同意いただける場合は「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れて「インストール」をクリックしてください。



3 ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合、「はい」をクリックします。



- 4 下記の画面が表示されたら「再起動」をクリックして、コンピューターを再起動してください。

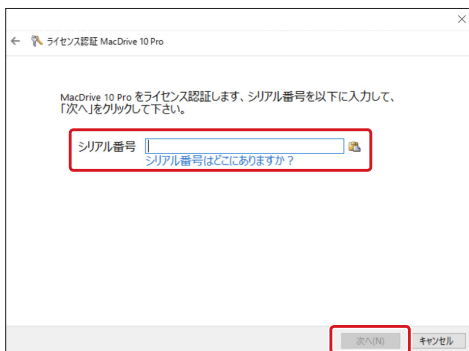


MacDrive のライセンス認証

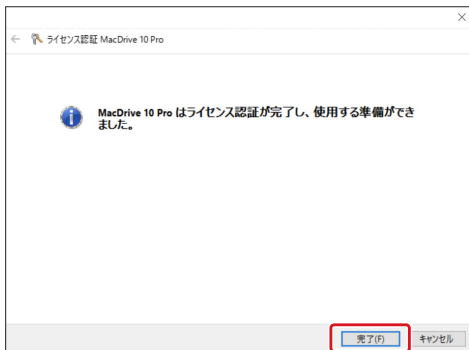
MacDrive の初回起動時にライセンス認証の画面が表示されます。

1 「購入済み (ライセンス認証を行う)」にチェックを入れて、「次へ」をクリックしてください。

2 シリアル番号を入力して、「次へ」をクリックしてください。



下記のような画面が表示されれば、認証は正常に行われています。
「完了」をクリックして、MacDrive をご使用ください。



Disk Aware のインストール

CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、CD 内の「MacDrive セットアップ」をダブルクリックして実行してください。

1 「DiakAware をインストール」を押してください。

Diak Aware のインストーラーが起動します（最新のプログラムを確認するため、起動するまでに時間がかかる場合があります）。



2 Disk Aware セットアップが開きましたら、使用許諾契約書を注意深くお読みください。

同意いただける場合は「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れて「インストール」をクリックしてください。



3 ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合、「はい」をクリックします。



4 下記の画面が表示されましたら「起動」をクリックしてください。

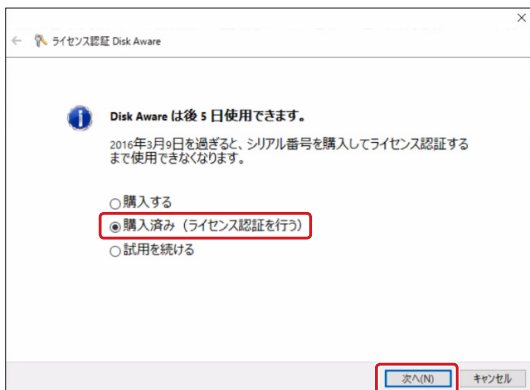
Diak Aware が起動します。



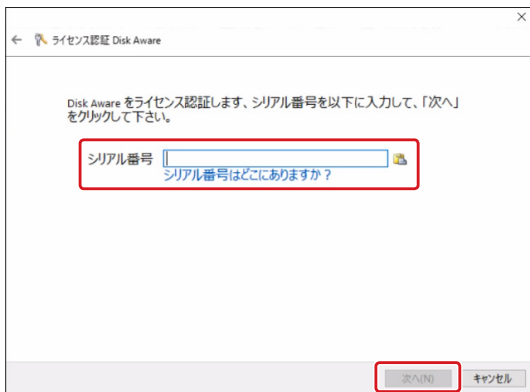
Disk Aware のライセンス認証

Disk Aware の初回起動時にライセンス認証の画面が表示されます。

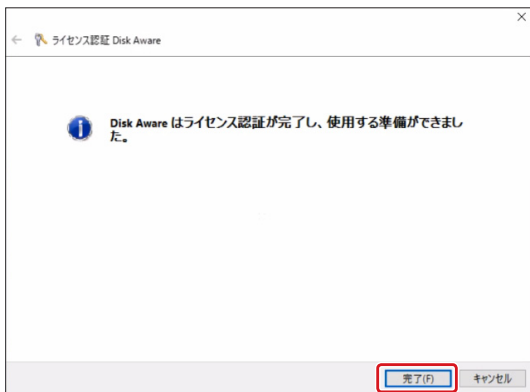
- 1 「購入済み（ライセンス認証を行う）」にチェックを入れて、「次へ」をクリックしてください。



2 シリアル番号を入力して、「次へ」をクリックしてください。

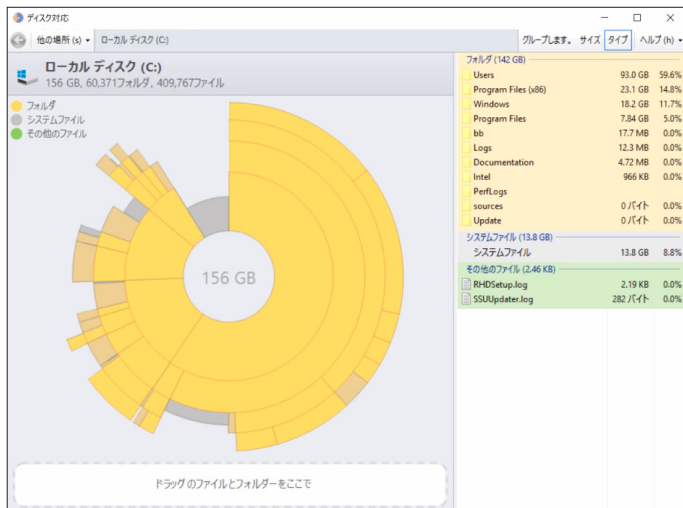


下記のような画面が表示されれば、認証は正常に行われています。
「完了」をクリックして、Disk Aware をご使用ください。



Disk Aware は、コンピューターのディスク使用量を視覚的に把握できる大変便利なツールです。

使用方法の詳細はプログラム内のヘルプからご確認ください。



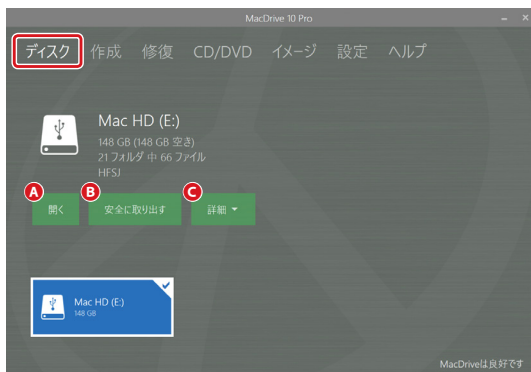
第3章 MacDrive 10の使用方法

MacDrive 10 を起動すると、ソフトウェアの全ての機能を実行できる MacDrive のメイン画面が表示されます。ここから各機能の概要の確認と、実行が行えます。

各機能はウインドウ上部のタブ（機能名称）から行います。

「ディスク」タブ

ディスクタブには、コンピューターに接続されている Mac ディスクが一覧表示されます。



A 開く：

選択している Mac ディスクを、Windows エクスプローラで開きます。

B 安全に取り出す：

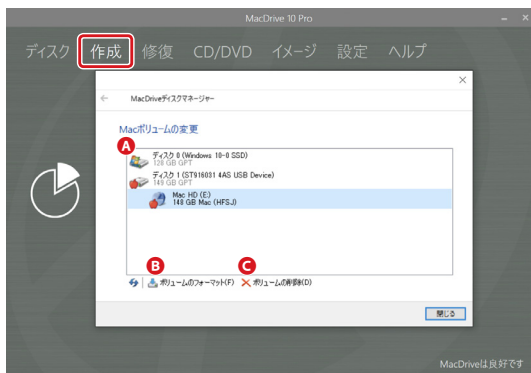
選択している Mac ディスクをアンマウント（取り出し）ます。Mac ディスクをコンピューターから取り外す際にこちらを行ってください。

C 詳細：

このメニューから選択している Mac ディスクの修復などを行うことができます。

「作成」タブ

MacDrive ディスクマネージャーで、Mac ディスクの作成とフォーマット、削除が行えます。



リスト (A) からフォーマットや削除をしたい Mac ディスクを選択します。

B ボリュームのフォーマット：

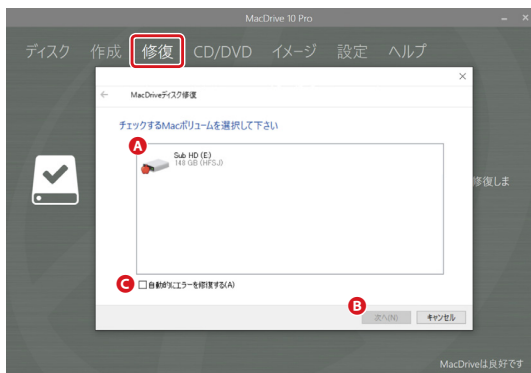
選択した Mac ディスクを Mac フォーマットにフォーマットします。

C ボリュームの削除：

選択した Mac ディスクのデータを削除します。

「修復」タブ

修復タブでは、MacDrive ディスクにエラーがないかをチェックしたり、エラーがあった場合に修復を行います。



リスト (A) からエラーチェックをしたい Mac ディスクを選択します。

「次へ (B)」をクリックするとチェックが開始されます。

C 自動的にエラーを修復する：

このオプションを選択してチェックを行うと、エラーが発見された場合に自動的に修復も行います。

「CD/DVD」タブ

Mac 用のディスク作成を行うタブです。



「イメージ」タブ

Mac 用の ISO ファイル作成を行うタブです。CD/DVD などのディスクにデータを直接書き込むのではなく、ISO ファイルを作成します。



「設定」タブ

設定タブでは、MacDrive の各種設定を行えます。



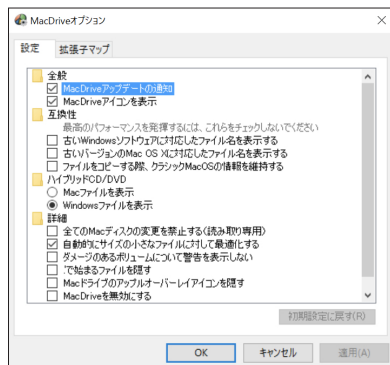
A Windows 開始時に MacDrive を表示する：

チェックを入れると、Windows を起動した際、自動的に MacDrive も起動するようになります。

B Mac のディスクが接続されたら MacDrive を表示する：

チェックを入れると、Mac ディスクをコンピューターに接続した際、自動的に MacDrive を表示します。

「MacDrive の拡張設定 (C)」から MacDrive を一時的に停止させたりなど、細かな設定を行うことも可能です。



「ヘルプ」タブ



A ヘルプ：

オンラインヘルプを確認することができます。クリックすると、ブラウザが起動して最新の操作マニュアルを確認できます。

B 更新の確認：

アップデートの確認を手動で行うことが可能です。

C ライセンス認証：

ここからライセンス認証を行えます。ライセンス認証が完了している場合、上記のように「ライセンス認証の解除」という表記になります。

※ コンピューターの再インストールや移行の際には、必ずライセンス認証の解除を行ってから、移行先のコンピューターにインストールを行ってください。

よくあるご質問

ライセンス認証とはなんですか？

ライセンス認証（アクティベーション）とは、製品が正規のライセンス数に応じた台数のコンピューターにインストールされていることを確認する目的で、シリアル番号とコンピューターの情報を取得するものです。製品をご利用し続けるには、ライセンス認証の手続きを行う必要があります。認証手続きでは、入力されたシリアル番号と、コンピューターのハードウェア情報から生成される固有の番号が、インターネットを通じてオンライン認証サーバーへ送信されます。これ以外の情報（氏名、住所、コンピューター名、ユーザー名など）が送信されることはありません。

再インストールを行うので、現在のライセンス認証（アクティベーション）を解除する方法を教えてください

ライセンス認証の解除には2つの方法があります。1つ目は MacDrive をインストールしたコンピューターをインターネットに接続し、この状態でアンインストールしてください。ライセンス認証の解除が自動的に行われます。もう1つの方法は、MacDrive 10 クイックスタートランチャーから「ライセンス認証の解除」を選択、実行してください。

OS のリカバリー後に MacDrive を再インストールしたところ、ライセンス認証の制限回数を超えていますと表示されて認証できません

問題の発生したシリアル番号を、次のお問い合わせフォームからテクニカルサポートにご連絡ください。情報を確認後、ご回答いたします。

・再アクティベーションお申込みフォーム：

https://secure.e-frontier.co.jp/support_mediafour/

フロッピーディスクを使用できません

フロッピーディスクが破損している場合、Macintosh のフォーマットではない場合、800 キロバイトまたは 400 キロバイトのディスクである場合などは、フロッピーディスクは MacDrive によって認識されません。ディスクの左上に四角い穴が空いていない場合は、1.44 メガバイトディスクではありません。なお、右上にあるのは書き込み禁止用の穴です。Mac OS 上で、ディスクが正しくフォーマットされており、破損していないことを確認してください。ディスクの動作が Macintosh 上でも正常ではない場合は、Macintosh のディスク修復ツールを使用して、ディスクを調べてみてください。

Macintosh のファイルを開けません

MacDrive はファイルの変換ツールではありません。Macintosh のファイルを Windows で使用するには、そのファイルを扱うことのできるソフトウェアを Windows 側に用意しなければなりません。多くのソフトウェア製品 (Microsoft Word など) には、Windows 版と Mac OS 版の両方があり、そういったソフトウェアのデータファイルを共有するのは大変簡単です。また、音声や画像ファイルの場合、特定のオペレーティングシステムに依存しない形式 (MP3、JPEG、GIF など) になっており、そういったファイルであれば、多くのソフトウェアで取り扱うことができます。その他のデータ、たとえばデータベースのファイルのようなものを扱えるかどうかは、Mac と Windows の両方にインストールしているソフトウェアに依存することになります。

Macintosh のゲームやワープロなどのソフトウェアを起動できません

MacDrive は Mac OS のエミュレーターではありませんので、Windows 上で Macintosh のソフトウェアを動作させることはできません。MacDrive はクロスプラットフォームでドキュメントやデータファイルを共有するためのものです。一方のプラットフォームからもう一方にデータを移す場合、両方のプラットフォームに、そのデータを取り扱えるソフトウェアが必要になります。たとえば、MacDrive は Adobe Photoshop の画像ファイルを Macintosh と Windows の両方で共有できるようにしますが、Photoshop あるいは互換性のあるソフトウェアが両方のシステムになれば、ファイルを使用することができません。

アイコンや拡張子が期待どおりに表示されません

MacDrive オプションのうち、「拡張子マップ」タブでは、Windows で作成したファイルに対し Mac OS でどのようなアイコンを表示するか、または Macintosh フォーマットのディスクにあるファイルに対し Windows でどのようなファイル名、拡張子を表示するかを決める規則を簡単に編集できます。

ファイル名に予期しない文字が表示されます

Macintosh と Windows の文字セットが違うためです。それぞれのオペレーティングシステム間で国際文字と記号を正しく変換するように細かく決められています。どちらのオペレーティングシステムももう一方では使えない文字を使っています。このため Windows ではファイル名が正しく表示されないことがあります。ファイルを開くことはできます。また、Mac OS では正しく表示されます。MacDrive ファイル名のモードを変更することで、表示される文字を調整することができます。

フォルダが空なのに削除できません

多くの場合、フォルダは空のように見えるだけです。フォルダには Macintosh のシステムファイルが含まれていることがあり、MacDrive からアクセスできないようになっています。それ以外の可能性としては、Windows が隠しファイルを表示しない設定になっているために、表示されないファイルが残っていることが考えられます。

Windows のディスク管理ソフトウェアと Mac ディスクの相性が悪いようですが

この場合は注意が必要です。Windows ディスクのでフラグメント、保守管理または回復用のソフトウェアが Mac ディスクにアクセスすると、対処方法がわからず、強制的に Windows ディスクとして認識することによって「修復」しようと試みます。修復は失敗し、ディスクのデータの一部または全部が失われてしまいます。決して修復させないようにしてください。

Mac CD-ROMなのに Mac ファイルが表示されないのはなぜですか？

CD-ROM には Macintosh ボリュームと PC ボリュームの両方を持っているものがあります。通常、このようなハイブリッド CD-ROM を使うと、MacDrive は Macintosh (HFS/HFS+/HFSX) のボリュームを無視し、PC (ISO-9660) ボリュームにアクセスできるようにします。Macintosh ボリュームにアクセスするには、ディスクの MacDrive ショートカットメニューで Macintosh ボリュームを選択します。

MacDrive オプションを変更したらファイルが行方不明になりました

デスクトップや Windows エクスプローラのファイル一覧を更新するには、「表示」メニューで「最新の情報に更新」を選択するか、F5 キーを押します。ファイル一覧を更新する方法はソフトウェアによって異なりますが、通常は、別のフォルダを選択してから元のフォルダに戻ると一覧が更新されます。

コンピューターを再起動すると「Mac ディスクにアクセスできません」というダイアログが表示されます

何らかの理由によって、Mac ディスクを構成するファイルや設定が壊れてしまった場合にこのダイアログが表示されます。この場合 MacDrive のインストールを修復することが推奨されます。もしインストールの修復を行いコンピューターを再起動してもうまくいかない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。

テクニカルサポート

ヘルプファイルやよくあるご質問に記載の無い問題が発生した場合、弊社ホームページをご参照ください。

イーフロンティアホームページ

URL <http://www.e-frontier.co.jp/>

弊社ホームページでは製品発売後、追加のあったトラブルシューティング情報などが FAQ という項目に掲載されております。弊社ホームページのサポートの項目を参照ください。

また、FAQ を参照しても問題が解決しない場合、同ホームページにあるお問い合わせフォームからご連絡いただくか、弊社テクニカルサポート窓口までご連絡ください。

■テクニカルサポート連絡先

お問い合わせフォーム：

<https://secure.e-frontier.co.jp/support/>

用語集

BinHex

Bin Hex は、Macintosh フォーマット以外のディスクやコンピューターに Mac ファイルを保存して転送するためのファイル形式です。BinHex はインターネットなどでよく使われる Mac ファイルの形式です。BinHex ファイルには元の Mac ファイルの名前、アイコン、システムビット、日付、ファイルタイプ、クリエータ、データフォークおよびリソースフォークが含まれています。MacDrive は BinHex ファイルを作成することはできませんが、既存の BinHex ファイルから Mac ファイルを抽出することができます。

MacBinary

Mac Binary は、Macintosh フォーマット以外のディスクやコンピューターに Mac ファイルを保存して転送するためのファイル形式です。MacBinary ファイルには元のファイルの名前、アイコン、システムビット、日付、ファイルタイプ、ファイルクリエータ、データフォーク、およびリソースフォークが含まれています。MacDrive を使うと、MacBinary ファイルから Mac ファイルを抽出することも、Macintosh フォーマットのディスクにあるファイルから MacBinary ファイルを作成することもできます。

拡張子

Windows では多くの場合、ファイル名の後にピリオドと 2 文字または 3 文字の「拡張子」が付いています。これにより、あるファイルに記録されたデータの種類の Windows で認識され、ユーザーに示されます。Windows ではこの拡張子によってファイルのアイコンの種類と、ダブルクリックした場合などのファイルの処理方法が決まります。Windows では拡張子はとても重要です。Windows では主に拡張子によってファイルの内容を示すからです。

クロスプラットフォーム

複数のオペレーティングシステム間で使用することを目的とするものを意味します。通常、MP3 オーディオファイルや JPEG 画像ファイルなど、一般的なデータファイルの多くは複数のオペレーティングシステムで使用されます。ソフト

ウェアパッケージにもクロスプラットフォームを考慮したものがあります。つまり同じデータファイルを同一のソフトウェアパッケージの機能を通じて複数のオペレーティングシステムで使用できます。MacDrive を使用すると、このようなソフトウェア上を使用してドキュメントや、データファイルを Macintosh、Windows 両方で開くことができます。

ショートカットメニュー

Windows のソフトウェアでは、マウスの右クリックによって表示されるポップアップメニューから機能やオプションを利用することがよくあります。このメニューは状況（コンテキスト）に依存しますので、「コンテキストメニュー」と呼ばれることもあります。メニューの内容は、マウスがポイントしているものによって変わります。例えば、リストボックスの項目のショートカットメニューには選択した項目だけに影響を与える項目が表示され、リスト自体（特定の項目をポイントしていない状態）のショートカットメニューにはリストの外観と動作に影響を与える項目が表示されます。

ショートファイルネーム

DOS スタイル、いわゆる 8 文字＋ピリオド＋3 文字のファイル名。以前の 16 ビットのソフトウェア（Windows3.1 以前）の多くはこのショートファイル名しかサポートされていませんでした。大文字しか使用できない上に英字、数字と一部の記号しか使用できません。また、空白文字の使用もできません。

ディスクの作成（焼く）

CD-R/RW、DVD ± R/RW のディスクを作成する場合に、データを書き込むことをディスクを焼くということがあります。この言葉はデータをディスクの面にディスクを書き込む（修正する）時にレーザーが行う挙動からこう呼ばれております。

データフォーク

Mac ファイルには「フォーク」と呼ばれる 2 つのコンポーネントがあります（リソースフォークも参照）。データフォークは主要なフォークで、Macintosh と Windows で共有するときに利用するデータは通常ここに記録されます。MacDrive で Mac ディスクのファイルリストを表示するときは、データフォークが必ず表示されます。

パーティション

同じディスクの中に他の領域と分けられて設定されたエリアです。基本的にはひとつのボリュームとして認識します。

ファイルクリエータ

4文字のコードで構成される Mac ファイルのプロパティで、ファイルの作成元であるソフトウェアを表します。通常、この情報は Macintosh を使用しているときは利用できませんが、MacDrive を使うとファイルのプロパティウィンドウの「MacDrive」タブでこの情報を利用できるようになります。

ファイルタイプ

4文字のコードで構成される、Mac ファイルのプロパティでファイルに保存されたデータの性質を表します。通常この情報は Macintosh を使用しているときは利用できませんが、MacDrive を使うとファイルのプロパティウィンドウの「MacDrive」タブでこの情報を利用できるようになります。

マウント

ボリュームにアクセスできるようにするための動作です。リムーバブルメディアを挿入したり、ホットスワップのドライブを接続した場合は、Windows はディスクをスキャンしてボリュームにあるパーティション（パーティションも参照）を探します。マウントされると、ドライブレターが割り振られてそのディスクにアクセスできるようになります。

マウント解除

アクセス可能なボリュームへのアクセスを正しい方法で解除することです。

マルチセッション CD-R

マルチセッション CD-R は 1 回だけの書き込みではなく、2 回もしくはそれ以上にわたり追記されて作成されたディスクです。このディスクには別個の複数のボリュームが存在します。

リソースフォーク

これは Mac ファイルの第二のコンポーネントです（データフォークも参照）。ファイルのリソースフォークに関する情報は MacDrive 「ファイルプロパティ」タブにあります。

リムーバブルメディア

物理的にディスクが出し入れ可能なタイプの記録メディア。例えば、MO や Zip、Jaz、Syquest が該当します。

ロングファイルネーム

ファイル名の制限（半角 8 文字＋ピリオド＋ 3 文字）を超えるファイル名です。Windows デスクトップ、エクスプローラ、およびほとんどの Windows ソフトウェアではファイル一覧を長いファイル名で表示します。

MacDrive、MacDrive ロゴ、Mediafour、Mediafour ロゴは Mediafour Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

Apple、Mac、Macintosh、iTunes、iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple, Inc の商標です。

その他全ての商標は、所有する各社の商標です。

Apple Public Source License の元で使用された全てのソースコードは go.mediafour.com/macdrive/apsl からダウンロードし、同ライセンスの元で利用できます。

This documentation and proprietary software are Copyright©1996-2016 Mediafour Corporation. ©2016 e frontier, Inc.